

自己点検・評価表

実施日:平成 29年 6 月 1 日

学校名:中央動物看護専門学校

1. 学校の教育目標

- ・ 動物福祉の精神に立ち動物を慈しむ優しい心を持つ
人と動物のより良い関係づくりを目指し
人と動物の両者に対して情熱を傾けられる人材
- ・ 失敗から学ぶ心と方法を知る
試行錯誤を通して、仕事を学ぶ「心」と「方法」を体得できる人材
- ・ 動物看護のジェネラリストに必要な知識と技能を身に付ける
動物看護の知識とスキルを学び、その専門性を広く応用できる人材
- ・ 豊かな人間性とビジネスマナーを兼ね備える
生き生きと社会で活躍するために必要な豊かな人間性と
飼い主とのより良い人間関係を築くための
コミュニケーション能力を兼ね備えた人材

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

ここ数年、専門学校を取り巻く環境は大きく変化し、職業教育を担う役割の学校として以前にも増して期待を寄せられようになった。また、少子化の影響による学生数の減少は学校経営をも揺るがせる。そこで平成28年度の重点目標は教育の質向上とともに学生数の確保である。教育の質を向上させ、魅力ある学校づくりが募集につながる意識を持って業務に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
1	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
2	・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
3	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
4	・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
5	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

学校の理念・目的・育成人材像は、学生生活の手引き、講義概要(シラバス)、ホームページなどに記載することで明文化している。学生に対しては、入学時のオリエンテーションで説明をおこなっており、保護者に対しては、入学前オープンキャンパスや保護者向け進路読本、また入学後年2回行われる保護者会で説明している。

② 今後の改善方策

社会経済のニーズ等を踏まえた、新たな知識・技術を積極的に取り組み反映させる。
保護者に対しての学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想など周知は、入学後は保護者会での周知となっているため、保護者会に欠席した保護者への周知を郵送等の手段を行う。

2 学校運営		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
1	・目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
2	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
3	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
4	・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	3	2	1
5	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
6	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
7	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
8	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

教育活動等に関する情報公開について、ホームページや学園新聞等で情報公開しているが、ホームページの構成が利用者側にとって、分かりやすい情報発信をしていく。

② 今後の改善方策

ホームページをリニューアルして、利用者に対して、新しい情報発信をするように努めていく。

3 教育活動		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
2	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
3	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
4	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
5	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
6	・専門分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
7	・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
8	・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
9	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
10	・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
11	・人材育成の目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
12	・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
13	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
14	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

年2回学科ごとに専門分野の企業様にご協力いただき、教育課程編成委員会を開催し、意見を頂いている。専門教育を行ううえで、意見は大変貴重であり、最新の動向を教育内容に取り入れることは、専門学校教育にとって重要なことと考える。

② 今後の改善方策

それぞれの委員会でいただいた意見を、必要に応じてカリキュラムの作成、見直しを行い教育力の向上を図る。

③ 特記事項

授業評価については教師アンケートを学生にたいして行っており、結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。

4 学修成果		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
2	・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
3	・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
4	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
5	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

資格取得率向上のため、試験スケジュールを考慮してカリキュラム編成を行っている。
学生の生活態度を把握し、随時学生と面談を行うことで、退学率の低減を図っている。

② 今後の改善方策

高い合格実績を出すことを前提に引き続き高い教育水準を保てるように、職員も現場の情報を取り入れ、授業に組み入れていく。

5 学生支援		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
2	・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
3	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
4	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
5	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
6	・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
7	・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
8	・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
9	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
10	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

進路・就職に関する支援体制は主に担任、就職指導センターが窓口になり、本人の希望等に配慮しつつ個別指導を行っている。
保護者との連携については年2回保護者会を開催し、希望者には担任との個別面談を実施している。

② 今後の改善方策

社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備について、社会人入試制度や職業訓練給付金制度があるが、利用者を増やす策としてホームページへの掲載やチラシの利用など外部へのさらなる周知を検討したい。

6 教育環境		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
2	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
3	・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

施設・設備に関して、大学や大都市の専門学校との比較では不十分である。

② 今後の改善方策

施設・設備に関して最先端の教育環境の整備は必要ではあるが、予算的にも優先順位をつけて段階的に整えていくことになる。

③ 特記事項

防災、避難訓練を定期的実施している。

7 学生の受入れ募集		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
2	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
3	・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

学生募集活動については、毎年パンフレット、募集要項を作成し入学希望者に配布しておける。また、年間で計画したオープンキャンパスを開催し、学校説明や体験授業を経験し当校の理解を深めてもらっている。

② 今後の改善方策

教育の成果を広く周知するため年3回学園新聞を発行しているので、さらなる活用の検討をする。

8 財務		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
2	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
3	・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
4	・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

財政基盤は安定しているが、中長期的に更に安定したものとするため、入学者の安定確保が重要であり、募集が順調に伸びるかがその要である。

② 今後の改善方策

中長期的に財政基盤を支えるため、入学者数の安定確保をいかに図るかが重要となる。
また、予算案・収支計画は入学者数の予測並びに進級者の見込み数に基づいてを立てており、有効かつ妥当なものとなっているため、継続して行いたい。

③ 特記事項

財政基盤は安定しているものの、中長期的に更に安定したものとするため、入学者の安定確保に向けた募集活動が今後も大切である。入学者数の予測並びに進級者の見込み数に応じて予算・収支計画を立てており、予算・収支計画ともに有効かつ妥当なものになっている。外部機関による会計監査も定期的に適正に行われており、今後も継続して行う。

9 教育の内部質保証システム		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
2	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
3	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
4	・自己点検結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

自己点検、自己評価を実施し、ホームページに公開している。

10 社会貢献・地域貢献		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
2	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
3	・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

地域貢献のため、地域清掃やボランティア活動の参加など積極的に進めている。

② 今後の改善方策

本校の教育資源を十分に活用して、多くの学生が社会貢献・地域貢献に参加できるよう、呼びかけや運用整備を

11 国際交流（必要に応じて）		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
2	・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
3	・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
4	・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

グローバル化に対応できる人材の育成

② 今後の改善方策

本格的に留学生の受け入れに伴う、体制づくり。